

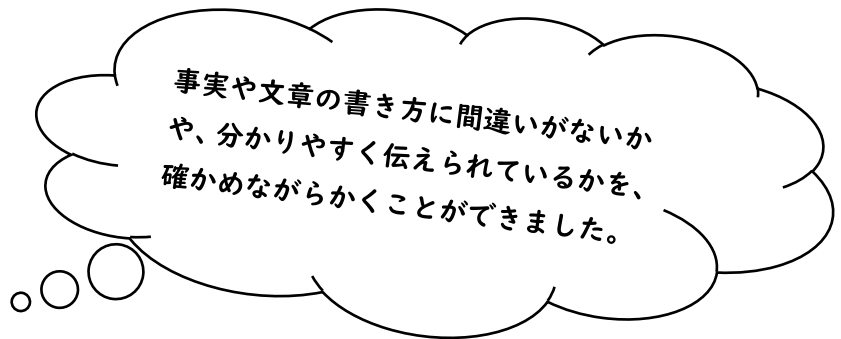


〈第4学年〉

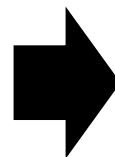
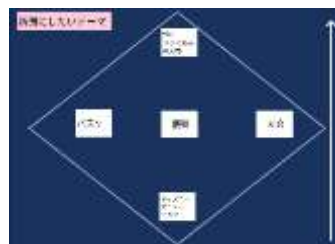
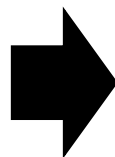
☆「国語科」でのICT活用

国語の「新聞を作ろう」という単元でICTを活用しました。夏休みの思い出を新聞にして友達に紹介しようという学習です。子どもたちは「夏休みの思い出の中で、伝えたいことを分かりやすく伝えるためにはどのような工夫が必要だろう」と試行錯誤を繰り返しながら新聞づくりに取り組みました。

〈完成した新聞〉



新聞ができるまでの過程はこんな感じです。



夏休みの思い出をたくさん思い出すために思い出マップを作りました。

「思い出を1枚で伝えられない」という子どもの発言から、伝えたい順に並べました。

テーマを決めたら取材やアンケートなどの計画を立てました。

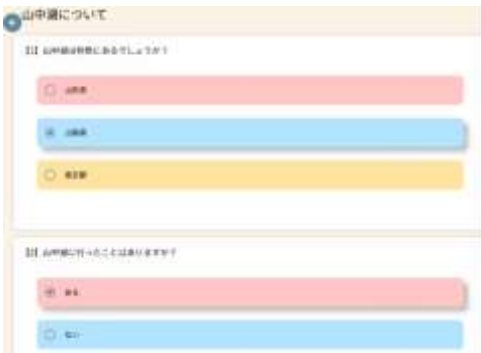
伝えたい内容を分かりやすくするためには、文章だけでは難しいことに気が付くことができました。写真や図(グラフ)を用いることで「見てすぐに分かる」「文章よりも読みたいと思う」という声が聞こえてきました。また、読み手に読んでもらうための工夫として「興味を引く見出し」を意識して作ることができました。



わりつけづくり

見出しや文章を考えると同時に「わりつけ」(記事の配置)を考えました。一番読んでもらいたい記事はどこに書くのが良いか、限られたスペースの中でどのくらいの大ききで書くかなど、子どもたちのオリジナル感あふれる割付を完成することができました。

アンケートづくり



ロイロノートのアンケート機能を使い、クラスの友達に自分で作ったアンケートを送り、回答してもらいました。クイズ形式のアンケートにしたり、写真付きのアンケートにしたりするなどの工夫が見られました。

アンケートの結果は、ロイロノート上で棒グラフや円グラフになり、子どもたちはどのグラフが伝わりやすいかを考えながらアンケートの結果をまとめ、新聞に書くことができました。その後、下書きを書きいざ本番！！綿密な下準備をすることでどのクラスも意欲的に学習に取り組むことができました。書き終わった後も各クラス掲示をして、友達の夏の思い出について楽しそうに語り合っている姿を教室で見ることができました。

このように、教科や単元に合わせて、多様な形で ICT を活用しています。ICT 機器を使用することにより、アンケートなど従来では時間のかかってしまう作業も授業中に短時間で行うことができます。また、ロイロノート内で新聞を共有することで困りごとを友達と共有し、一人では困難な課題でも、協同的に取り組むことができます。

4年生では、ICT 機器にも慣れ、他の授業でも効果的に活用することができています。例えば社会科の防災の学習ではストリートビューやマップを用いることで授業で行った「防災会議」の中でハザードマップ作りにも挑戦しました。

係活動など ICT 機器に触れることが多くなってきていますのでルールを確認しながら楽しく学習に臨むことができるようにしていきます。